

## 令和8年度 ミッションおよび経営改革プラン

<b>団体名</b>	公益財団法人神戸国際コミュニティセンター
------------	----------------------

### ■ 観点① 公益貢献

ミッション①							
公的な日本語教育機会の提供と地域日本語教育の中核的機能の強化							
経営改革プラン①							
①	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px; vertical-align: top;">公益貢献の取組</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初級日本語クラス（三宮、新長田、魚崎）」において、基礎的な日本語能力の習得支援を行う。受入人数拡大とともに、対象とする在留資格の制限を行い、初級日本語クラスを真に必要な受講者への学習機会の提供拡大をはかる。また、オンラインクラスも引き続き実施することで、場所に制約されない教育機会の提供にも取り組む。</li> <li>・大学と連携し、外国人住民と日本人住民が日本語によるコミュニケーションを通じて相互理解を深める機会を創出し、地域住民との交流による日本語使用機会の拡大と社会参加促進をはかる（R8予定：「にほんごでおしゃべり」5回以上）。</li> <li>・近隣に暮らす外国人住民との相互理解を深める契機として、地域共生サポーターの活動と連動しながら「やさしい日本語」講座を希望する自治会や婦人会などの小規模団体の要望に応じ、講師を派遣して講座を実施する。</li> <li>・行政窓口の対応支援として、区役所職員に対しても「やさしい日本語」講座をニーズに応じて実施するとともに、市内転入者の多い時期における行政窓口の混雑対策支援についても、神戸市と連携しながら検討する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;">期待される効果</td> <td style="padding: 5px;"> <p>地域において、日本人と在住外国人がともに安心・安全で秩序ある生活を送ることができるよう、在住外国人が日本で生活する上で必要な情報を理解し、日本人との相互理解のためのコミュニケーションツールとしても必要となる日本語能力を向上させる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;">具体的目標・指標</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級日本語クラス受入定員増（昨年度比13%増：568人→645人）</li> <li>・にほんごでおしゃべりの実施（昨年度より4回以上増：1回→5回以上、大学生の参加人数：30人以上）</li> <li>・やさしい日本語出前講座（5回）</li> </ul> </td> </tr> </table>	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初級日本語クラス（三宮、新長田、魚崎）」において、基礎的な日本語能力の習得支援を行う。受入人数拡大とともに、対象とする在留資格の制限を行い、初級日本語クラスを真に必要な受講者への学習機会の提供拡大をはかる。また、オンラインクラスも引き続き実施することで、場所に制約されない教育機会の提供にも取り組む。</li> <li>・大学と連携し、外国人住民と日本人住民が日本語によるコミュニケーションを通じて相互理解を深める機会を創出し、地域住民との交流による日本語使用機会の拡大と社会参加促進をはかる（R8予定：「にほんごでおしゃべり」5回以上）。</li> <li>・近隣に暮らす外国人住民との相互理解を深める契機として、地域共生サポーターの活動と連動しながら「やさしい日本語」講座を希望する自治会や婦人会などの小規模団体の要望に応じ、講師を派遣して講座を実施する。</li> <li>・行政窓口の対応支援として、区役所職員に対しても「やさしい日本語」講座をニーズに応じて実施するとともに、市内転入者の多い時期における行政窓口の混雑対策支援についても、神戸市と連携しながら検討する。</li> </ul>	期待される効果	<p>地域において、日本人と在住外国人がともに安心・安全で秩序ある生活を送ることができるよう、在住外国人が日本で生活する上で必要な情報を理解し、日本人との相互理解のためのコミュニケーションツールとしても必要となる日本語能力を向上させる。</p>	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級日本語クラス受入定員増（昨年度比13%増：568人→645人）</li> <li>・にほんごでおしゃべりの実施（昨年度より4回以上増：1回→5回以上、大学生の参加人数：30人以上）</li> <li>・やさしい日本語出前講座（5回）</li> </ul>
公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初級日本語クラス（三宮、新長田、魚崎）」において、基礎的な日本語能力の習得支援を行う。受入人数拡大とともに、対象とする在留資格の制限を行い、初級日本語クラスを真に必要な受講者への学習機会の提供拡大をはかる。また、オンラインクラスも引き続き実施することで、場所に制約されない教育機会の提供にも取り組む。</li> <li>・大学と連携し、外国人住民と日本人住民が日本語によるコミュニケーションを通じて相互理解を深める機会を創出し、地域住民との交流による日本語使用機会の拡大と社会参加促進をはかる（R8予定：「にほんごでおしゃべり」5回以上）。</li> <li>・近隣に暮らす外国人住民との相互理解を深める契機として、地域共生サポーターの活動と連動しながら「やさしい日本語」講座を希望する自治会や婦人会などの小規模団体の要望に応じ、講師を派遣して講座を実施する。</li> <li>・行政窓口の対応支援として、区役所職員に対しても「やさしい日本語」講座をニーズに応じて実施するとともに、市内転入者の多い時期における行政窓口の混雑対策支援についても、神戸市と連携しながら検討する。</li> </ul>						
期待される効果	<p>地域において、日本人と在住外国人がともに安心・安全で秩序ある生活を送ることができるよう、在住外国人が日本で生活する上で必要な情報を理解し、日本人との相互理解のためのコミュニケーションツールとしても必要となる日本語能力を向上させる。</p>						
具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級日本語クラス受入定員増（昨年度比13%増：568人→645人）</li> <li>・にほんごでおしゃべりの実施（昨年度より4回以上増：1回→5回以上、大学生の参加人数：30人以上）</li> <li>・やさしい日本語出前講座（5回）</li> </ul>						

②	<p>公益貢献の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域日本語教室運営助成事業」において、外国人住民に対して地域との交流や社会参加支援活動を行っている地域日本語教室を財政的に支援する。さらには、企業のニーズに応じた地域日本語教室の学習者基盤の拡大といった地域日本語教室の持続的な運営に繋がる支援について、神戸市と連携しながら検討する。</li> <li>・「企業内教室開設支援事業」において、専門的な知見を活用して社内日本語教室の立上げを支援する。</li> <li>・「地域日本語教育人材育成事業」（従来の多文化共生セミナー・日本語ボランティア養成講座・同フォローアップ講座を再構築）において、地域日本語教室の活動に関わる人材を育成し、地域日本語教室への橋渡しをはかる。</li> </ul>
	<p>期待される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的に支援することで、地域日本語教室がより充実した活動を行うことができる。</li> <li>・企業が自らの責務として日本語教育に取り組みやすい環境づくりを促進する。</li> <li>・神戸市における地域日本語教育体制に参画する人材層の拡大をはかる。</li> </ul>
	<p>具体的目標・指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金交付団体の増（昨年度実績（14団体）を上回る）</li> <li>・企業内教室開設相談実施（5社）</li> <li>・地域日本語教育人材育成研修実施（全5回）</li> </ul>

## ミッション②

日本人と外国人の双方が安全・安心に暮らせる地域づくりへの寄与

### 経営改革プラン②

①	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域等において主体的に防災活動を担う外国人材を育成するため、多文化防災リーダーを養成する。</li> <li>・ 3回の育成プログラムを通じて災害に備えることや災害時の行動など、災害に関する基礎知識を習得し、防災リーダーとしての活動に活かす。</li> <li>・ 次年度以降は自走リーダーとして自分たちで活動を行うことを目指す。</li> </ul>
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身に付けた防災知識を活かし、地域団体や他の外国人への防災啓発活動を行うことができる。</li> <li>・ 防災訓練への参加などを通じて地域とのつながりを強めることにより、災害時に日本人と外国人をつなぐ役割を担い、お互いが助け合えることができる。</li> </ul>
	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規認定人数 20名</li> <li>・ 認定後の活動回数 3回以上</li> </ul>
②	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和8年度より新たに地域共生サポーターを配置し、市内各地において、日本人と在住外国人との相互理解を促進する。</li> <li>・ 大学や外国人支援団体等と連携し、在住外国人支援や、日本人と在住外国人との相互理解を深める国際交流事業を実施するとともに、国籍等の区別なく市民が集い利用することができる「ふたば国際プラザ」を運営する。</li> </ul>
	期待される効果	日本人と在住外国人との相互理解を促進する。
	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における、日本人と在住外国人との交流マッチング件数 3件以上</li> <li>・ 各イベント参加人数 KOBEランタン縁日 600人、KOBE国際フェスタ 1,700人</li> <li>・ ふたば国際プラザ来館者数 12,000人</li> </ul>

### ミッション③

ワンストップ相談窓口等を通じて得たKICC独自のナレッジの一元管理・共有による持続可能な体制整備とサービス水準の向上

### 経営改革プラン③

①	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの生活相談のナレッジをデータベース化し、質が高く、かつ持続可能なワンストップ相談窓口整備に向け、検討を行う。</li> <li>併せて、日本人にも外国人にも分かりやすいホームページ改築に向けて検討を行う。</li> </ul>
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップ総合窓口を質が高く、かつ持続可能なものとする。</li> <li>ホームページにより日本人の在住外国人への理解を深めるとともに、在住外国人が日本で生活する上で必要な情報を得られるようにする。</li> </ul>
	具体的目標・指標	翌年度以降の実現に向け、これまでの生活相談データの整理・分析や、ホームページのアクセス分析などの準備作業および事業者との意見交換を進める。

## ■ 観点② 経営改善

### ミッション①

人材育成と業務効率化の推進

### 経営改革プラン①

①	経営改善策	地域国際化協会の職員として、多文化共生の現場で求められる専門性と、組織内外での協働を支えるビジネススキル（傾聴力、説明力、発信力等）の習得を促すため、研修機会の提供や他団体が開催する外部研修への参加を奨励する。
	具体的目標・指標	各種研修の実施または参加 5回※外部研修含む
②	経営改善策	特に総務・経理業務について属人化が課題となっているため、給与システムを導入し、担当者変更時のリスク低減と業務品質の均一化、さらには事業課職員も含めた業務効率化をはかる。
	具体的目標・指標	給与システムの試行導入、効果検証を実施し、翌年度以降の本格導入の方向性を決定する。